

初めてIE（インダストリアル・エンジニアリング）を学ぶ生産技術・製造スタッフ向け

「IE入門講座」

～IEと生産システムの基本を知り
正しい分析手法・改善優先順序と改善の原則を学ぶ～

日時 2018年 **8月22日(水)** 10:00～17:00
(9:30 受付開始、休憩 12:30～13:30)

主催  日刊工業新聞社

会場 日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム
東京都中央区日本橋小網町 14-1 (住生日本橋小網町ビル)

受講料 **43,200円**(資料含む、消費税込)
*同時複数人数お申し込みの場合2人目から38,880円



日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム

東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)

【アクセス】

東京メトロ日比谷線『人形町駅』A2出口 徒歩3分、都営浅草線『人形町駅』A6出口 徒歩3分
東京メトロ半蔵門線『水天宮前駅』8番出口 徒歩4分
※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。
※講義の録音・録画は固くお断りいたします。

●申込方法

申込書を郵送又はFAXにて下記にお申し込みください。ホームページからお申し込みできます。(http://corp.nikkan.co.jp/seminars/) 受講料は銀行振込で受講票及び請求書が到着次第、開催日1週間前までにお支払いください。

なお、キャンセルにつきましては開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。振込手数料は貴社でご負担願います。

口座名義	りそな銀行	東京営業部	当座	656007
(株)日刊工業新聞社	三井住友銀行	神田支店	当座	1023771
	みずほ銀行	九段支店	当座	21049
	三菱UFJ銀行	神保町支店	当座	9000445

●申込先 日刊工業新聞社 業務局 イベント事業部 技術セミナー係

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)
TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215
e-mail : j-seminar@media.nikkan.co.jp

受講申込書

8/22 IE入門講座

お申し込みは **FAX 03-5644-7215**

■受講料：43,200円（資料含む、消費税込）*同時複数人数お申し込みの場合2人目から38,880円

※振込手数料は貴社にご負担ください。

会社名		業種	
氏名	フリガナ	TEL	
	部署・役職	FAX	
所在地	〒		
	E-mail :	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は チェックをしてください。 <input type="checkbox"/>	

※お申込み受付後、受講票ならびに請求書をお送りいたします。

No.180198

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。
なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp

開催にあたり

「IE(インダストリアル・エンジニアリング)」が誕生して一世紀。

その技術は日本企業のモノづくりに多大な貢献をしてきました。しかし、生産要素が設備や情報システム(IOTを含む)にシフトする生産システムの高度化とともに、モノづくりの基本である「IE」が次第に忘れられてはいないでしょうか。

「人、資材、情報、設備、エネルギーの総合したシステムの設計、改善および実施に関することを扱う(IEの定義)」エンジニアリング技術であることの原点に立ち返れば、多様化に伴う多種少量を短納期、かつグローバルに生産するモノづくりに「IE」は不可欠です。

また、最近では「IE」をしっかりと学ばないままに「改善活動」を続けるうち、目的が見えなくなって改善活動自体が目的化してしまうケースも増えています。

本セミナーは、IEを初めて学ぶ生産技術や製造スタッフを対象に、IEの基礎を研修することによって、適切な分析手法と正しい改善手法の習得を目的とします。

講師

(株)MEマネジメントサービス マネジメントコンサルタント・公認会計士 **橋本 賢一 氏**

1969年中央大学商学部卒。1975年公認会計士第3次試験合格。公認会計士事務所勤務の後、日本能率協会コンサルティング事業部に入り原価革新や生産性向上のコンサルタントとして活躍。1985年(株)MEマネジメントサービスを設立。多くの製造業の生産現場でコスト革新に関するコンサルティングに携わり、豊富な経験を有するマネジメントコンサルタント。
著書・共著に『初乗り610円にダマされるな!』(経済界)、『正しい意思決定のための経済性工学がわかる本』『よくわかる原価のしくみ』(以上、日本能率協会マネジメントセンター)、『社長! 経営が見えていますか?』(日本経済新聞社)、『よくわかるムダとりの本』『見える化でわかる売り値と買い値』『見える化でわかる間接・サービス部門の原価管理』『見える化でわかる限界利益と付加価値』(以上、日刊工業新聞社)などがある。

プログラム

第1章. IEと生産システムの基本 — 4つの生産要素の最適組み合わせ —

- 1-1 インダストリアル・エンジニアリングとは何か
- 1-2 生産の基本は生産要素の最適組み合わせ
- 1-3 IEの原点となる改善と管理
 - 演習：蛸焼き作業の改善
 - ・科学的管理法
 - ・標準作業方法
- 1-4 環境変化に合わせたIEの発展
 - 演習：レンガ積み作業
 - ・動作分析・残り手扱い分析
 - 演習：検査作業の自動化例
 - ・人間工学

第2章. 改善優先順序と改善の原則 — どれくらい改善できるかが判る —

- 2-1 改善対象は量から質を攻める
- 2-2 分析型・リサーチアプローチ
 - 演習：切削時間を短縮してみよう
 - ・ABC分析・PQ分析
 - ・改善検討の原則と着想の原則
- 2-3 設計型・デザインアプローチ
 - 演習：どのようなロスが見えるか
 - ・ブレーン・ストーミング
 - ・ワークサンプリング
 - ・機能分析
- 2-4 設備能力を有効に使う
 - 演習：設備能力を生かす改善

第3章 ライン・セル生産の構築 — 迅速かつ柔軟なモノづくりを目指す —

- 3-1 同期生産の長所と短所
- 3-2 ライン編成とラインバランス
- 3-3 設備の同期化改善のポイント
 - 演習：同期ライン編成
 - ・工程分析
 - ・ラインバランシング
- 3-4 セル生産方式の構築
 - 演習：同期セルラインの生産方式
 - ・ピッチダイヤグラム

第4章. 標準時間と工数・設備効率管理 — 標準作業の実施効率を管理する —

- 4-1 標準作業方法を標準時間にする
- 4-2 連合作業分析：設備と人の標準時間
 - 演習：標準時間設定問題
 - ・ビデオ・タイムスタディ
 - ・マン・マシンチャート
- 4-3 工数・設備効率管理のやり方
 - 演習：工数と時間ロス
 - 演習：工数・設備効率計算
 - ・標準時間・PTS
 - ・PAC・TPM
- 4-4 工数・設備効率向上のポイント